

各メディアで幅広く活躍する経済ジャーナリスト・荻原博子さんによる
「幸せな老後」をむかえるためのお金にまつわる指南書

『荻原博子の 大丈夫！ 老後のお金』

より良い暮らしをめざすための刊行物を出版してきた株式会社オレンジページ(東京都港区)は、11月17日(木)に『荻原博子の 大丈夫！ 老後のお金』を刊行します。漠然とした不安を抱えがちな老後のお金について、経済ジャーナリストの荻原博子さんが、具体的&明快に解説します。



「思い立った今から少しずつ準備していけば間に合います。
楽しくハッピーな老後をむかえましょう！」(荻原博子)

【本書の特長】

- 老後のお金の様々な悩みに、荻原さんが本音でズバリ回答
- ひと目でわかる図解入りで、読みやすい! 難しくない!
- 知っておくべきお金にまつわる制度の情報が充実

●老後のお金の様々な悩みに、荻原さんが本音でズバリ回答

巻頭特集は「教えて、荻原さん!」。多くの人を持つ「ずばり、老後のためには、いくら必要?」といった悩みから、それぞれの家庭の事情で生じる悩みまで、荻原さんがお金の話を基に今後のライフプランについても踏み込んで回答。目からウロコの名回答が続出です。

「教えて、荻原さん!」Q&A 例

Q. 結婚以来、ずっと専業主婦。今からでも老後のために働いたほうがいい? (55歳・主婦)

A. 一度外に出て働いてみることをおすすめします。そうでないとご主人の気持ちもわからず……

Q. 私は故郷に帰りたいが、妻は今の家に住み続けたい。どう折り合いをつける? (58歳・会社員男性)

A. 試しに夫婦別々に暮らし、好きなことをやってみては。子育てが終わったら自由に……

●ひと目でわかる図解入りで、読みやすい! 難しくない!

マネー本と聞くと「ちょっと難しそう」と尻込みしがちな方にこそ手に取ってほしいのが本書。グラフやイラストを多用して解説しているのので、文章だけでは理解しにくい内容も、すっと頭に入ってきます。敷居は低く解説はていねいな初心者にもやさしいマネー本です。



図解例：老後に必要なお金は3つに分けられる (「part1 老後のお金って何?」より)

●知っておくべきお金にまつわる制度の情報が充実

「お金を貯めることも大切ですが、私たちの生活を取り巻くさまざまな制度を知っておくことも、同じくらいに大切」と荻原さん。本書では、老後のお金にまつわる重要な制度を取り上げ、それについてどう賢く対応していくべきかを詳しく解説しています。

・本書に登場する制度の一例：公的年金制度、確定拠出年金(個人型)、公的医療保険制度、介護休業制度

～目次～

【巻頭特集】教えて、荻原さん！

part1 老後のお金って何？

老後のためのお金は、65歳までに準備すればいい ほか

part2 老後のお金、どう貯める？（1） 毎月の貯め方編

公的年金を補う、「準公的年金」に加入する手も ほか

part3 老後のお金、どう貯める？（2） まとまったお金の貯め方編

100万円貯まったら、お得な預け先を考える ほか

part4 今からできる家計見直し術（1） 暮らしと保険のお金編

消費税のアップに備え、生活費の使い方を見直す ほか

part5 今からできる家計見直し術（2） 住宅資金と教育資金編

教育資金は、子ども1人当たり300万円を早めに確保 ほか

part6 今からできる家計見直し術（3） 仕事のお金と働き方編

60歳以降もできるだけ長く働く。これがいちばんの老後のお金対策 ほか

Column 荻原さんのおせっかい

お金を貯め込むよりも、人とのつながりを大切に ほか



監修／荻原博子（おぎわら ひろこ）

経済ジャーナリスト。複雑な経済やお金の仕組みを生活者の視点からわかりやすく解説し、家計についてアドバイス。新聞・雑誌などに執筆するほか、テレビ・ラジオのコメンテーターとしても幅広く活躍している。著書は『老後のための最新版 やってはいけないお金の習慣』（青春出版社）、『荻原博子のハッピー老後』（毎日新聞出版）、『隠れ貧困』（朝日新書）、『10年後破綻する人、幸福な人』（新潮新書）など多数。

『荻原博子の 大丈夫！ 老後のお金』

11月17日(木)発売 本体1018円(税別)

<http://www.orangepage.net/books/1128>

A4変型判、アジロ綴じ、総ページ84ページ

<このリリースに関するお問い合わせ先>

〒105-0004 東京都港区新橋4-11-1 株式会社オレンジページ

広報室 遠藤 press@orangepage.co.jp Tel 03-3436-8421 Fax 03-3436-8434

【3/3】